

2019年度「里山の山野草を守る会」7月度全体会報告書

記録：2018. 7. 10 佐々木達裕 火曜班

- (1) 日 時：2019年7月9日（火） 13:00～15:50
 (2) 場 所：桜井市三谷地区 山野草園
 (3) 出 席：月曜班/7、火曜班/12、木曜班/3、金曜班/7、土曜班/1、福岡家/2、実習生/4、計/36名
 (4) 天 候：小雨のち曇り 気温約26℃ at13:00
 (5) スケジュール

13:00 はじめの会

代表の辞

- ・今全体会終了後のユウスゲの鑑賞会日程を昨年の例を鑑みて予測して本日を設定するも、やや早かったか。
- ・大阪コミュニティ財団より助成金20万円取得。これの申請時の費消予定アイテムが他の助成金と重複の為、各班のフィールド現場に設置する小型倉庫購入に充てることとする。（金曜班はすでに設置済み）
- ・シニア自然大学の役員改選あり。金戸千鶴子氏が代表理事に就任。当会月曜班mp西尾氏も担当理事。
- ・実習生4名の参加を得。
- ・本日は変則スケジュール。

ユウスゲ鑑賞は午後4時頃、のち小夫の大ケヤキ（樹高30m、幹回り10m、推定樹齢1500年）見物。
 （午後5時半頃）

実習生自己紹介

木戸雅喜氏（花組2班）、川口隆二氏（風組3班）、木村美彦/木村恵美子（星組2年次3班）の四氏より各自の自己紹介あり。それぞれ榛原、王子、神戸などより来園。

事務局より

小型倉庫の設置を8月全体会の日(8/1)に行う。各班には7月の活動日に設置場所の地均し等をお願いする。本日は電動鋸の講習会あるので受講者の皆さん、よろしく。

尚、7月15日に予定する源流体験の打合せがあるので、担当者は集まってください。

13:30

各班は通常活動に。

機械講習や源流体験担当者打合せは夫々の場所にて。

実習生四名は事務局よりオリエンテーション・イダンスを受ける。

15:30 終わりの会

① 各班の花情報等交流

月曜班：ツチアケビ満開、タチカモメヅル/オオバノトンボソウ/チダケサシ/オカトラノオ/ホタルブクロなどに花がつく。カワラナデシコも開花。

木曜班：花はほとんど終わり。オオバノトンボソウ/オカトラノオ/ホタルブクロなどに花。

金曜班：予定されているユウスゲ鑑賞会にちゃんと咲いてくれるか、と心配。

チダケサシ、ホタルブクロなどが咲く。スズサイコは蕾。

火曜班：ササユリが1本だけ咲き残っている。ヤマユリは10本が蕾をつけている。

ホタルブクロ/チダケサシ/オカトラノオなどに花。ユウスゲは52本（近々咲きそう）。

オオバノトンボソウが1本だけあり。

土曜班：村上さん、特にお訊ねもせず、まことに失礼いたしました。—佐々木

② 実習生の感想：

木戸氏「自然を守る大切さを学んだ。今後のことは花組でのこえからの活動の中で考えたい」

川口氏「竹林をなくした、という話を聞いてHOW?WHY?と感じたが答えをいただいた」

木村（美）氏「シニア自然大学にて諸所を観察したが、ここへきて感動した。機会あれば再訪したい」

木村（恵）氏「再訪したい。ありがとうございました」

以上にて、全体会は終了。あとはユウスゲ鑑賞会、大ケヤキ見学など課外活動に。

15：50 金曜班フィールドへ出発。

危ぶまれた天気と開花時期尚早かという心配もあったが、十分鑑賞に堪えるほどの咲き具合を満喫できた。スズサイコも開花している株が幾つかあり。

17：30 小夫の天神社へ向かい、大ケヤキを見学する。

18：00 解散

お疲れ様でした。

ユウスゲ鑑賞会

